

基本目標 若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事の場を創出する

【基本的方向】 創業希望者や創業後間もない人たちの円滑な事業展開を促進するため、継続的な支援を行います。また、地域産業の活性化を図るため、商工会や金融機関と連携し地元事業者の支援や中小企業・小規模事業者の事業継承を促進します。雇用機会の創出にも努めます。併せて、本町の基幹産業である農業等の将来の世羅町を担う人材の育成や観光振興に力を入れることで、持続可能な地域の働く場の創出に努めます。	数値目標		生産年齢人口							目標達成率	評価
	(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	9000	7971	7,827	7,574						100%	A
7000			7,557	7,422	7,287	7,152	7,014				
5000											
【総合戦略評価・意見】 評価できる 12人 評価できない 0人											

基本施策 1 創業・事業継承支援、地元事業者支援による地域産業の競争力強化

令和3年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)		創業者数							目標達成率	評価
1. ①新規創業助成金活用数：5件 ②新規創業利子補給補助活用：10件 ③新規創業者：8件 2. ①小規模企業支援事業：12件 3. ①事業承継事業：0件 ②人材育成事業：42件 4. ①企業立地促進事業：11件 ②サテライトオフィス誘致戦略の策定 ③紹介チャンネル掲載事業者：18件	1.商工会と連携し、補助金・助成事業の継続により中小企業者への支援を行います。 2.既存の企業の再投資費用の低減を図るなど、雇用の創出につながる投資に対する支援を継続的にを行います。 4.①企業立地支援を引き続き推進します。 ②サテライトオフィス誘致戦略の展開のため、短期間利用可能な「お試しオフィス」を、世羅の宿ひがしへ整備します。 ③企業紹介動画作成支援を引き続き行います。	(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		10	8	6	8	7	7	7	7	114%	A	
		5										
		0										
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：2人 やや有効：3人 有効でない：0人		住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え										

【1.創業の促進】 ●創業支援のメニューが多く、支援が手厚いのではないかと。 ●いろいろな媒体での周知が必要だと思ふ。	【2.地元事業者の支援】 ●単年度ごとの事業で同じ補助金を年度でつかえるので良いと思ふ。 ●利子補給支援は手続きが簡単だった。	【3.事業承継の支援】 ●使いやすく、すごく良い制度だと思ふ。 ●敷居が高くなくできるので良いと思ふ。	【4.雇用機会の創出】 ●1万円の負担で世羅町企業紹介チャンネル掲載のクオリティはすごい。 ●マーケティングをし、ターゲットを考えて発信することが必要である。 ●ホームページのみの掲載はもったいない。	1.メニュー等については好評を頂いているが、引き続き内容については検討を行っていきます。商工会と協力して周知していきます。 2.支援内容については好評を頂いているが、引き続き検討を行っていきます。 3.支援内容については好評を頂いているが、引き続き検討を行っていきます。 4.企業紹介動画作成は好評を頂いているが、再生回数を伸ばす取り組みを検討していきます。	
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる 12人 評価できない 0人		総合戦略推進会議意見に対する町の考え			

1.新規創業者8件の業種は。 3.事業継承事業0件だが、申請自体がなかったのか。事業継承が難しい所も多いと思ふがその点についての認識は。	1.飲食、工事関係、車関係等多種多様です。 3.申請がなかったのが0件。店舗の改修費や屋外広告等が対象だが、実際はそれ以外が必要との意見もある。事業のメニューを常に見直しながら事業を進めていきます。
---	--

基本施策 2 将来の世羅町を担う人材の育成

令和3年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)		認定新規就農者数 (産業創造大学卒業生で認定した者)							目標達成率	評価
【1.農業の担い手の育成】 世羅産業創造大学卒業生で認定新規就農者：1人 【2.6次産業の推進による人材の確保】 6次産業化支援件数：1件 【3.介護福祉人材の確保・育成】 介護福祉士実務者研修受講者 (5人)	1.就農相談から営農までの期間を短縮するため、農地中間管理機構と連携し事前の農地確保を行い、就農希望者へ迅速に農地の提案を行います。農業体験を継続実施し備後圏域での連携等により周知します。 2.地域で実施されるイベント・研修会等の活動支援をします。県等と連携し、サポート支援事業等の実施をします。 3.介護現場での研修を進めます。	(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		4	2	1	1	2	2	2	2	50%	C	
		3										
		2										
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：2人 やや有効：3人 有効でない：0人		住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え										

【1.農業の担い手の育成】 ●県内でも農業先進地としての地位は確立しつつある。これからは、周知等が必要と考える。 ●現状の支援事業は振興作物、単一作物の専業農家向け支援に感じる。もう少し幅を持たせた支援事業が必要だと思ふ。 ●農地中間管理機構の農地ではなかなか思い通りにならない。地域への受入や、直接地域からの受入希望があればいいが。	【2.6次産業の推進による人材の確保】 ●進めていけば農業の担い手作りにもつながる。 ●農業の担い手育成と6次産業の推進は、同一の支援で行えると有効かと思ふ。 ●情報が少ないため、具体的に何をしたらいいかわからない。	【3.介護福祉人材の確保・育成】 ●介護福祉人材確保の施策は大事だと思ふ。 ●職員の給与上昇のため、介護事業所向けの補助事業を行ってはどうか。 ●実態を把握し、積極的な育成確保を事業所と連携して行ってはどうか。	1.事業の周知は、就農者向けのサイトや就農相談会等の機会を通じて行ってきましたが、更に幅広くみなさまへ知っていただけるよう、周知方法の工夫を行いたいと考えます。 新規就農者等へのスムーズな農地マッチングが進むよう、農地中間管理機構との連携に加え、既存の法人等の農地情報 (今後の利用意向) 等の収集に努めます。産業振興の観点から、一定の規模での営農をされる方や振興作物に係る支援を行っています。多様な働き方という視点からの支援策についても幅広く検討していきます。 2.農業部局との連携を図りながら推進をしていきます。成果が見えやすいように整理し、周知等の方法について検討します。 3.介護現場での実習研修を進めます。資格取得等の必要経費に対する補助金等について内容を再検討します。介護現場の労働環境改善等のため、関係者に対して情報提供や実技研修等を行います。		
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる 12人 評価できない 0人		総合戦略推進会議意見に対する町の考え			

3.他業種でも人手不足の中、福祉事業をここにあげた理由は。	3.他分野の人材確保も問題ですが、介護福祉分野の人材確保が難しいとの観点から第一次総合戦略で施策に入れており、引き続きの施策としています。
-------------------------------	---

基本施策 3 観光振興について

令和3年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)		観光消費額							目標達成率	評価
【1.観光振興の推進】 ①観光消費額：1,973百万円 ②入込観光客数：1,641千人	1.新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ観光客数と観光消費額の回復を目指すため、各関係団体等との連携を深めて、様々な事業を推進していくとともに、外資系ホテルの参入による新たな取り組みを考えていきます。	(単位)百万円	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		4000	2652	1828	1973	3700	3700	3800	3900	3900	53%	C
		2000										
		0										
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：2人 やや有効：3人 有効でない：0人		住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え										

【1.観光振興の推進】 ●食、見、は充実している。 ●世羅の観光は泊まる場所や遊ぶ場所が少ない。 ●町内で買ってもらうためのバリエーションをふやす必要がある。 ●農家民宿等は敷居が高いので使いにくい。 ●外部の方からアンケートなどをとって、データを集める必要があるのではないかと。	1.令和4年度策定中の世羅町観光振興基本計画に係り、各観光施設でのアンケート調査や観光施設事業者へのヒアリング調査等を行っており、今年度中にオープン予定の外資系ホテルを絡めた様々な観光資源との連携等、新たなアクティビティや商品開発を含め、今後の観光振興をどのように基本計画に盛り込んでいくかを検討します。										
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる 11人 評価できない 1人		総合戦略推進会議意見に対する町の考え									

1.マリオットホテルの進出もある中で観光の取り組みをどのように行うのか。幅広く官民一体となり取り組みの拡充と具体的な検討をしたらいいのでは。 1.住民ワーキングの意見で、マイナス評価が多い、取組のスピードアップが必要と思ふ。 1.コロナの影響で民間の事業も出来ない時期があった。それも影響していると感じた。	1.観光協会がおもてなしの取り組みを検討中。町もマリオットホテルを含めて今後の取り組みを12月中旬より実施予定です。関係団体、観光協会、飲食組合、6次産業の方々との様々な協議を進めています。
---	---

基本目標Ⅱ 世羅町の魅力と立地を活かし新たな人を呼び込む

【基本的方向】 移住定住促進を図るため、総合的な相談窓口の体制により、住まい・仕事等ニーズに応じた情報を提供します。また、空き家バンク制度等を活用した移住定住支援や住宅の取得に向けた支援を行い、住まいの確保を図ります。併せて、地域外の人材を積極的に受け入れ、関係人口の創出・拡大の取り組みを推進します。	数値目標		20歳～39歳の人口							目標達成率	評価
	(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	3000 2000 1000 0	2442	2324	2241	2382	2322	2282	2242	2203	95%	B
【総合戦略評価・意見】 評価できる12人 評価できない0人 指標の達成評価はB、A、Bとそれなりの数値を出している。											

基本施策1 移住定住に関する総合的な支援

令和3年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)		移住者数 (空き家バンクに限る)							
【1.ニーズに応じた移住定住支援】 ①空き家購入支援件数：8件 ②空き家バンク新規物件登録件数：18件 ③若年者遠距離通勤助成件数：15件 【2.移住者への情報発信の拡充】 移住相談件数：180件 【3.事前体験する機会の創出】 ② お試し暮らし利用回数：4回 ②移住体験プログラム実施件数：3件 【4.関係人口の創出】 ①関係人口創出事業参加者数：0人 ②地域おこし協力隊任用人数：0人	1.固定資産税納付書に同封した空き家バンクのチラシの効果を検証し、継続的に制度の周知を図ります。また、自治センター等との連携により情報提供を受ける等、物件の掘り起こしをします。 2.広島県や広域連携で立ち上げている Facebook や Twitter を積極的に活用し、世羅町の情報を細やかに発信します。 3.オンラインの活用等、コロナ禍における相談対応の在り方を検討します。 4.世羅町移住・交流促進協議会をはじめ、地域の皆さんと協働で行える事業を企画し実施していくしくみを作ります。	(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
		30 15 0	18	21	25	24	26	28	30	114%	A

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：5人 やや有効：1人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え

【1.ニーズに応じた移住定住支援】 ●移住者が目標値を超えているのは良い。 ●若い人が全員対象になる減税制度はどうか。 ●空き家以外に住む選択をした人への補助制度を検討するべき。 【2.移住者への情報発信の拡充】 ●県外に向けた道の駅での情報発信は良いと思う。 ●移住希望者のニーズに合った情報発信が必要。 ●通勤助成の周知不足を感じる。15件は、少ないと思う。 【3.事前体験する機会の創出】 ●春・夏・秋・冬で利用でき、ゆっくり考えられるのは良い。 ●移住する人の心の準備のため、いいところもあれば悪いところもあるリアルな世羅を体験してほしい。 【4.関係人口の創出】 ●道路出来て、どこへもアクセスしやすい。 ●就労先のあっせん・相談が必要。 ●空き家バンクの情報しかない。	1.ご提案いただいた減税や結婚祝い金、賃貸アパート等空き家以外に住む選択をした移住者への補助制度については、移住者を増やす効果があったとしても、本来の意味での長期間にわたる定住につながるのかという視点をもって検討しなければならないと考えています。 2.情報発信については、ホームページ、無線放送、ケーブルテレビ、ライン、チラシ等により行っているが、特に若い人へ情報を届けるためには、町のツールだけではなく観光協会や商工会、県や広域連携のホームページや SNS でも発信するように努めます。 3.お試し暮らし制度を活用して実際に世羅町へ足を運んでもらい、地域の方や先輩移住者と話す機会をつくる等、リアルな世羅町を体験してもらう取り組みを進めます。 4.移住・定住相談においては、空き家バンクの情報に限らず就労に関する相談や子育て支援等幅広い分野の情報提供をしており、よりニーズに合った相談対応に努めます。
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる12人 評価できない0人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え

1. 空き家の件数が少なかったり老朽化によりすぐに住めない等の問題に事前に対応してほしいとの意見があるが世羅町での対応はどうか。
4. 関係人口創出事業0とはコロナの影響で事業自体できなかったのか。

1.終活セミナーや研修会を実施して、空き家の利活用を考えてもらう機会を作っています。
4.緊急事態宣言等発令により事業自体を中止しました。

基本施策2 快適な住環境の整備

令和3年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)		新築住宅戸数							
【1.快適な住環境の整備】 ①住宅リフォーム補助事業利用件数：48件 ②飲用水施設整備補助件数：14件 ③合併処理浄化槽設置基数：41件	1.①住宅リフォーム補助事業については、今後事業の活用状況によっては、予算額の拡大について検討の必要があります。 ②引き続き飲用水施設整備補助の継続をします。 ③国、県の補助基準額に加え、町独自の補助金額の上乗せ及び国、県の補助対象外である新築家屋に対する補助金交付を継続します。	(単位)戸	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
		80 60 40 20 0	72	65	65	75	75	75	75	87%	B

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：6人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え

【1.快適な住環境の整備】 ●住宅リフォーム補助事業は物価高騰により工事金額も上っており、助成金の上限の拡大を検討してほしい。 ●施工業者についての情報が不足している。 ●町外業者も含めリフォーム等補助率の拡充が必要。	1.助成金の上限の拡大及び補助率の拡充については、過去に助成を受けた方に不公平感が生じる可能性があるため、一時的な物価上昇でないか見極めて判断します。施工業者の情報について、住宅リフォームは建設業許可のない個人事業主でも工事を請負うことは可能なので、町で全てを把握することは難しく、情報提供は難しい状況です。申請者が、地縁がない等の理由により、個別に相談があれば応じていきます。町外業者について、「住宅投資の波及効果による町内経済の活性化」といった事業趣旨から外れるため、広げることはできません。
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる12人 評価できない0人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え

※住民ワーキング会議からの意見

青字 プラス評価 赤字 マイナス評価 黒字 その他

数値目標・重要業績目標 (KPI) 評価 A 100%～ B～99% C～69% D～29%

実績値 目標値

基本目標Ⅲ 結婚・妊娠・出産から子育てまで充実した生活環境を提供する

【基本的方向】 結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的支援体制による、子供を安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。また、保育料や医療費の助成により、子育てに要する経済的負担軽減を行い、子育てがしやすいまちづくりを推進します。さらに、学習環境の支援を行うとともに、奨学金を返還する若年層への支援により、将来の世羅町を担う人材を一人でも多く確保・育成することに取り組めます。	数値目標	合計特殊出生率							目標達成率	評価
	(単位)人	H25～H29基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	2 1 0	1.88	1.20	1.20	1.88	1.88	1.88	1.88	1.88	64%
【総合戦略評価・意見】 評価できる 12人 評価できない 0人 町の幸福度ランキング県内2位に世羅町がなった。そうした外部評価や行政、民間のこれまでの取り組みを知ってもらう事で就学人口、子育て世代が増加して町の賑わいに繋がると思う。										

基本施策1 結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的な支援の提供

令和3年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)	子育て世代包括支援センターの利用人数							目標達成率	評価
【1.結婚・妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない総合的な支援の提供】 ①子育て世帯包括支援センターの利用人数 7,630人 ③ イベント参加人数：0人 【2.保護者等の主体的な子育てへの支援の充実】 ①地域子育て支援拠点施設の利用延人数：181人 ②子育て情報アプリ登録者数：327人 【3.乳幼児・就学児童・生徒の子育て支援】 ②保育料半額補助延べ件数：1,668件 ③はぴはぴ祝金事業（出産祝金）：60件 【4.子育ての多様なニーズに対し働きながら育てられる環境の整備】 ①病児保育（体調不良児対応型）利用者数：249人 ②放課後児童クラブ登録者数：223人 ③放課後子供教室の開催地区数：1地区	1. ①②親子が集まれるフリースペースや相談ができる環境整備に努めます。③世羅町移住・交流促進協議会と連携し支援します。 2. コロナ禍でも、子育て親子が交流できる広場を検討し、育児不安や子育て負担の軽減や解消の支援に努めます。 4. ①保護者の多様な就労形態やニーズに対し、多様な保育サービスにより支援します。 ②放課後児童クラブを引き続き民間委託により安定的な雇用、良質なサービス等の提供を行います。 ③放課後児童クラブの設置地区以外の地区において、地域主体型の放課後子供教室の開催に取り組めます。	(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：4人 やや有効：1人 有効でない：0人		住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え									

【1.結婚・妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない総合的な支援の提供】 ●「だっこ」において相談できる環境ができたことが良い。 ●行政から能動的なアクションがあるのはよい。 ●保育士の常駐による相談支援が必要。 ●婚活イベントの内容について検討が必要。 ●町内どうしの結婚にも助成すべき。 【2.保護者などの主体的な子育てへの支援の充実】 ●アプリの対象年齢の拡大、内容の充実。 ●保護者の横のつながりがもててよい。 ●子育て広場の予約をアプリでできるようにできないか。 【3.乳幼児・就学児童・生徒の子育て支援】 ●保育料半額はありがたい。 ●18歳までの助成はよい。 ●保育士の確保のため予算をしっかりと確保してほしい。 【4.子育ての多様なニーズに対し働きながら育てられる環境の整備】 ●放課後子供教室があるのが良い。 ●児童クラブの場所を検討してほしい。 ●放課後児童クラブの入所条件が厳しい。	1. 「だっこ」や子育て支援事業について、あらゆる機会を通して周知啓発を行います。「だっこ」を拠点に、親子が自由に集まれるフリースペースやプライバシーに配慮され安心して相談できる環境整備と専門職の配置に努めます。婚活イベントの内容については、イベントを行う団体に対し可能な範囲で助言や支援を行います。結婚を理由とする助成は、町内外問わず行っていません。 2. アプリ機能の周知を含めて利用に向けた周知啓発に努めます。 3. 継続実施により保護者の経済的負担の軽減を図ります。人材の確保を検討しながら事業の効率化を図ります。 4. 社会全体で子供を育てる意識の高揚を図るため、コミュニティー・スクールと連動した地域学校協働活動として、放課後子供教室の運営支援に取り組めます。児童の保護者等が労働等により昼間家庭にいない児童が放課後児童クラブを利用できるように取り組みます。
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる 12人 評価できない 0人 数値目標の実績が1.88から1.2へ大きく減少している事について。 2. 子育て支援課の集まりで母親同士が仲良くなったり、公園で気軽に話しかけてもらえたりと、子育てしやすい環境だと思う。	1.88は国が公表した平均値(H25～H29)。1.2は町が計算した数値で、コロナ禍で大幅に減少している。町としては生まれた後に子育てがしやすい環境づくりの施策を進めていきます。 2. 親子の絆づくりプログラムや子育て広場に参加され、母親同士が仲良くなっています。「楽しい子育てを考える会」のメンバーが町外へも世羅町の子育て支援をPRされているので、子育て支援課も一緒に子育てを応援していきます。
総合戦略推進会議意見に対する町の考え	

令和3年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)	世羅高等学校入学者数							目標達成率	評価
【1.学習支援の促進】 ①1人1台の端末機を効果的に活用し、個に応じた指導や協働的な学習の推進を図った。 ②電子図書サービスの検討を行った。 【2.世羅高等学校における学習環境の支援】 ①世羅高等学校入学者数：124人 【3.奨学金の支援による若年層の人材確保】 ①返済制度支援者数：0人	1. ①クラウド上へ共有フォルダーを作成し、各学校の取り組み状況や教材等を相互に活用することで、活用状況差の解消を図ります。②電子図書コンテンツの拡充状況を踏まえ、図書館司書を交えて、引き続き導入の是非について検討していきます。 2. 町内外へケーブルテレビやYouTubeの動画による世羅高校の魅力・支援策の発信を行います。	(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：4人 有効でない：1人		住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え									

【1.学習支援の促進】 ●学習用端末を児童自身は楽しんで使っている。楽しめるのでおぼえるのが早い。 ●学習用端末になれ親しむことはできた。 ●紙としての本を読んでほしい。学校の図書の本を充実してほしい。 ●学習用端末を家庭学習での活用をするべき。 ●学習用端末の使い方については家庭全体で対応が必要。 ●端末の更新時期が早い。 ●電子図書より紙の本がいい。 【2.世羅高等学校における学習環境の支援】 ●Super世羅塾は、とても魅力的だと思う。 ●現中学生が世羅高校に対してどのような印象を持っているか聞く。問題点を見つける。 ●町長が行う講演は世羅高校1年生ではなく、中学生に世羅高の良さを伝えたら、有効な事業となる。 【3.奨学金の支援による若年層の人材確保】 (※導入する企業側の制度構築等が必要なため、町への意見なし)	1. 読書活動の推進においては、「誰でも、いつでも、どこでも」読書活動が行えるよう図書館サービスの充実、魅力ある図書館運営や環境整備を進めるとともに、環境の変化に対応できるよう電子図書サービスの導入も視野に入れ、「くらしの中に本がある」環境づくりに努めます。学習用端末の活用を更に進め、個に応じた指導や協働的な学習の充実を図り、児童生徒の学力向上に努めます。本を読み、読解力をつけることは、全ての学習の基礎であるため、引き続き学校図書室の充実と読書習慣の定着に努めます。学習用端末の持ち帰りについて、モラルの徹底等も含め引き続き有効活用を図ります。 2. 中学校と高校の連携強化を図り、問題点の把握や動画等により魅力を伝えます。 3. 支援制度の情報発信を行います。
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる 12人 評価できない 0人 2 KPIについて目標値を年々上げているが、段階的に対策を考えているのか。 2 世羅高校が県内での生徒の奪い合いとなるよりも県外から生徒を募集する事についての考えは。 2 食物検定や被服検定等、世羅高校の特色をもっとアピールしてはどうか。	2 遠距離通学支援や、ICT関係での強み、検定料の助成、Super世羅塾の継続等、世羅高の魅力をしっかり伝えていきます。 2 県内外含めて世羅町の支援制度が生徒、保護者への大きなPRとなっています。(世羅高校意見)
総合戦略推進会議意見に対する町の考え	

基本目標Ⅳ 若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事のを創出する

【基本的方向】 住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう、高速大容量の通信網を整備し、ICTによる地域課題解決・地域活性化の実現を図ります。また、交通ネットワーク及び医療体制の充実を図ります。さらに、住民が主体となった地域課題の解決や地域活性化に資する取り組みを支援することで、協働のまちづくりを推進します。	数値目標 (単位) 人 R1 基準 R2 R3 R4 R5 R6 R7 目標達成率 評価	社会増減数 0 -50 -100 -150 -43 -67 -30 -24 -18 -11 -4 -122	25% D
	【総合戦略評価・意見】 評価できる 12人 評価できない 0人 令和3年度の減少数が多くなった事について情報分析してほしい。		

基本施策1 情報通信基盤の整備

令和3年度の成果 【1.情報通信基盤の整備】 ケーブルテレビのインターネット加入率：52.7%	全体を通しての方向性 1.ケーブルの整備に伴い不要となった同軸ケーブル設備等の撤去工事を実施します。 高齢者に対するスマホ教室等を実施し、デジタル環境に慣れていただくことを通じて、家庭でのWi-Fi環境等の整備によるインターネット加入率の向上を図ります。	重要業績指標 (KPI) ケーブルテレビのインターネット加入率 (単位) % R1 基準 R2 R3 R4 R5 R6 R7 目標達成率 評価	100 50 0 36.1 37.8 52.7 47 48 49 50 115% A
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：5人 やや有効：1人 有効でない：0人		住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え	
【1.情報通信基盤の整備】 ●ケーブルテレビの加入率が全世帯の半数以上は評価できる。 ●通信速度が改善されており、今後の活用を考えると大変良いと思う。 ●移動型スマホ教室の利用は高齢者だと難しい。対面で教えてもらった方が良いのではないか。 ●行政サービス(福祉サービス)をインターネット経由でできるようにする。 ●『高齢』だからという理由で、おっくうになっており、どう取り込むかが焦点だと思う。		1.光ファイバーを用いた通信環境の適切な維持に努めます。 スマホ教室の開催については、今後、対面方式による開催を計画します。 高齢者の方へ、インターネットに加入する意欲向上につながるよう、スマホ教室の講座メニュー等の充実に取り組みます。	
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる 12人 評価できない 0人		総合戦略推進会議意見に対する町の考え	
1.情報通信基盤整備が課題となる中でワーケーションについて世羅町の取組はどうか。		1.サテライトオフィス誘致戦略に基づいてお試しオフィスの構築準備中です。	

基本施策2 地域公共交通ネットワークの充実

令和3年度の成果 【1.地域公共交通ネットワークの充実】 せらまちタクシーの利用者数：22,650人	全体を通しての方向性 1.まちなか循環タクシーくるりん号の周知を強化し利用促進を図ります。 津名・黒川地区の有償運送について利便性向上のための運行方法の見直し協議を行います。 黒川地区での互助輸送について調査事業を行います。	重要業績指標 (KPI) せらまちタクシーの利用者数 (単位) 人 R1 基準 R2 R3 R4 R5 R6 R7 目標達成率 評価	40000 30000 20000 10000 29214 24022 22650 29400 29779 30068 30357 30646 77% B
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：1人 やや有効：5人 有効でない：0人		住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え	
【1.地域公共交通ネットワークの充実】 ●ピースライナーの割引きは、いい事だと思う。 ●ピースライナー割引制度の周知が不足している。 ●路線バス(小国甲山線)が廃止されたが代替があってよかった。 ●JR備後三川駅での、飲食店の誘致、JRとバスの連結ができれば学生利用が増えると思う。 ●せらまちタクシーは、免許返納された方、運転の出来ない方にはありがたいサービス。 ●せらまちタクシーのPRや乗車体験会により、安心して免許自主返納ができる。 ●午後の便が不便。ドライバーの対応が悪い。 ●手荷物の大きさ制限があり充分に買い物ができない。		1.周知の強化を図るとともに、令和4年度は割引率を30%に上げて支援を継続します。 福塩線の存続のため、福塩線沿線市町連携により利用促進の取り組みの中で検討を行います。 運行主体の世羅町商工会や運行事業者と連携し、ダイヤ等の運行方法について検討を行っていきます。 また、利用促進の周知や、関係団体との連携により乗車体験を推進します。	
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる 12人 評価できない 0人		総合戦略推進会議意見に対する町の考え	
1.せらまちタクシーやくるりん号の取組については。 1.くるりん号は午後の便がないが時間設定の経緯は。		1.免許返納者へのタクシー券の交付や外出支援につなげる施策に取り組んでいます。 1.実証運行で、午後の利用者が少なかったため費用対効果を考慮し、午前の運行としました。	

基本施策3 医療体制の充実

令和3年度の成果 【1.医療体制の充実】 ①オンライン診療実施医療機関数：-件 ②公立世羅中央病院常勤医師数：13人	全体を通しての方向性 1.①オンライン診療実施に向けた医療機関における各種整備や、町内医療機関での事業承継の取り組みを支援します。 ②安定した医療サービスの提供を継続していくため、公立世羅中央病院の人員確保や施設整備の取り組みを継続的に図ります。	重要業績指標 (KPI) 公立世羅中央病院常勤医師数 (単位) 人 R1 基準 R2 R3 R4 R5 R6 R7 目標達成率 評価	20 10 0 14 13 13 16 16 16 16 16 81% B
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：2人 やや有効：4人 有効でない：0人		住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え	
【1.医療体制の充実】 ●オンライン診療の導入は良いと思う。インターネットの加入者増へつながらずではないか。 ●数年前に比べたら受診できる科が増えた(産科とか)。 ●自治センターのサロンに合わせて、診療所的な医師がくるることができたら良いと思う。 ●オンライン予約が全ての科に出来たらよいかと思う。(予約状況がわかるとか) ●介護保険事業所、障害福祉サービス等と連携し、データベースで管理できたら良いと思う。		1.オンライン診療の普及や医療情報の共有等、新たな医療提供体制等の整備について、医療機関と連携し努めます。	
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる 12人 評価できない 0人		総合戦略推進会議意見に対する町の考え	

基本施策4 元気な地域づくりの推進

令和3年度の成果 【1.元気な地域づくりの推進】 助成件数：0件	全体を通しての方向性 1.令和5年度のプロジェクト取り組み開始に向けて、令和4年度に要綱等を整備し、プロジェクトの募集を開始しています。 令和3年度に国に認定を受けた地域再生計画では、令和7年度のプロジェクト実施まで実質3カ年の支援を予定しています。多くの提案・実施につながるよう、事業の周知、ふるさと納税の掘り起こし等に注力していきます。	重要業績指標 (KPI) 元気な地域づくり応援事業実施件数 (単位) 件 R1 基準 R2 R3 R4 R5 R6 R7 目標達成率 評価	10 5 0 0 0 2 4 6 8 10 0% D
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：5人 やや有効：1人 有効でない：0人		住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え	
【1.元気な地域づくりの推進】 ●是非、継続的に元気な地域づくりの推進を進めてほしい。		1.令和4年度から元気な地域づくり応援事業を創設し、住民提案型の地域づくりの取り組みを支援します。	
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる 12人 評価できない 0人		総合戦略推進会議意見に対する町の考え	